

近世人物誌

やまと新聞附録(第貳)

中村芝翫の妻
俳優中村芝翫の妻を阿光と呼ぶ前原
仲の町に余や渡世屋振屋五兵衛の養女
光の芝翫嫁にや世帯を仕舞ひ母儀其
一家を擧て移住せしもの如く所謂世帯
帶と云ふものありたり光の才女たるは梨園
社會に隠れなき事處すや本と云ふ
芝翫の身入て其承諾あらはれ行幸平
素に和らぎて聲高し人物言の事
然るに事に臨み動せざる男子と雖り
及ぶる如く其一例を本ふ二年土用休中
芝翫菊五郎の一座を静岡地方へ趣きた
事ありし其時行先分の人ありし
得共償ふ足らざるより立元五日間の日延
を一切無給と出動せしをて止む爲
歸京の日取りと違ひ一同の迷惑大分
しと云ふ立元八元新微組の何某と
呼ぶ鬼とも取組じも居る壯士四五人
頼み合合無給出勤の事を以てせられ
一同怖るる中芝翫答辯する者あり
を光より出會て辨解する所ありしに
壯士も其理を服し是の談爰を結ひ
其翌日帰京の途に就き秋興行の初日
無くは備光の膽力に據り加之芝翫
の業は其専門家と遠く及ぶものありて
養子福助の養阿光や漢土朝日朝日
もや琴光の教授せられたる芝翫の性温良
る小此妻の天配前妙ありと云ふ
魁香舎主人ちうす

中村福助



中村芝翫の妻2号 文庫10-8617-2

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library